

2002年度第2四半期決算について

2002年11月

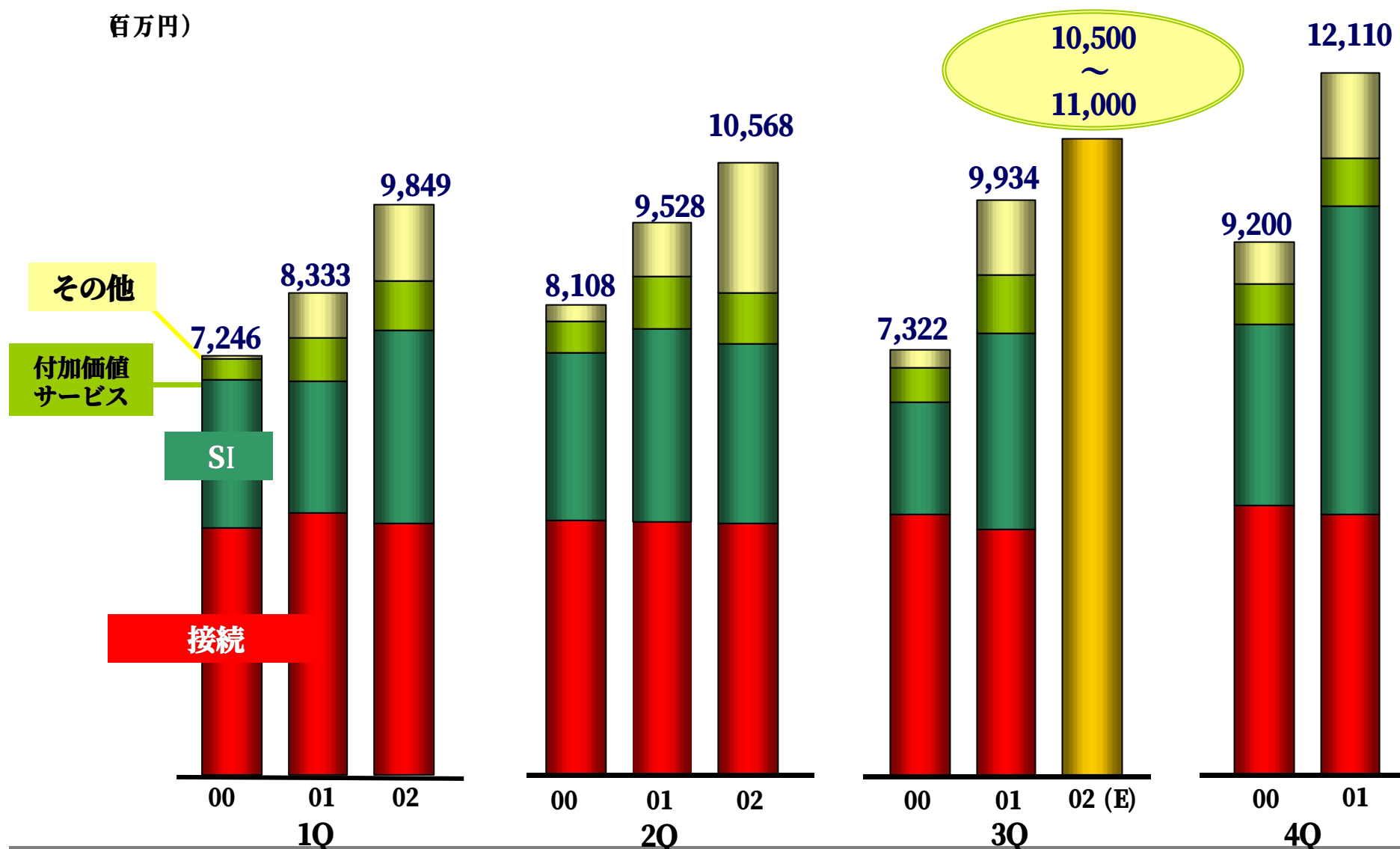
株式会社インターネットイニシアティブ
(NASDAQ:IIJI)

Statements made in this press release that state IIJ's or management's intentions, beliefs, expectations, or predictions for the future are forward-looking statements that are based on IIJ's and managements' current expectations, assumptions, estimates and projections about its business and the industry. These forward-looking statements are subject to various risks, uncertainties and other factors that could cause IIJ's actual results to differ materially from those contained in any forward-looking statement. These risks, uncertainties and other factors include: IIJ's ability to maintain positive operating income, IIJ's net loss for the past five fiscal years and its expectation that net losses will continue, IIJ's ability to continue to increase subscribers to its connectivity services, particularly at higher bandwidths; IIJ's ability to generate significant revenues from its other services such as systems integration; the success of IIJ's investments in Crosswave; the ability to compete in a rapidly evolving and competitive marketplace; the impact of technological changes in its industry; and other risks referred to from time to time in IIJ's filings on Form 20F of its annual report and other filings with the United States Securities and Exchange Commission.

- 2Q02売上高は、IIJ四半期決算としては2番目に高い売上高を達成
 - 売上高106億円（前年同期比 10.9%増、前期比7.3%増）
- 利益率は、全事業分野において改善（四半期ベース）
 - 全体の粗利益率11.0%へ（前年同期14.1%、前期9.1%）
 - 営業損失は前期比58.3%改善し、194百万円へ
 - EBITDA は前期比約2倍の662百万円へ
- 2002年度上半期売上高は、前年比14.3%増の204億円を達成
- ガイダンス
 - 3Q02売上高 105億円ー110億円
 - 2002年度通期売上高は、引き続き前年度比約20%増の見込み
 - 景気動向は不透明ではあるが、2002年度通期の営業損益は黒字化見込み

売上高推移 (四半期)

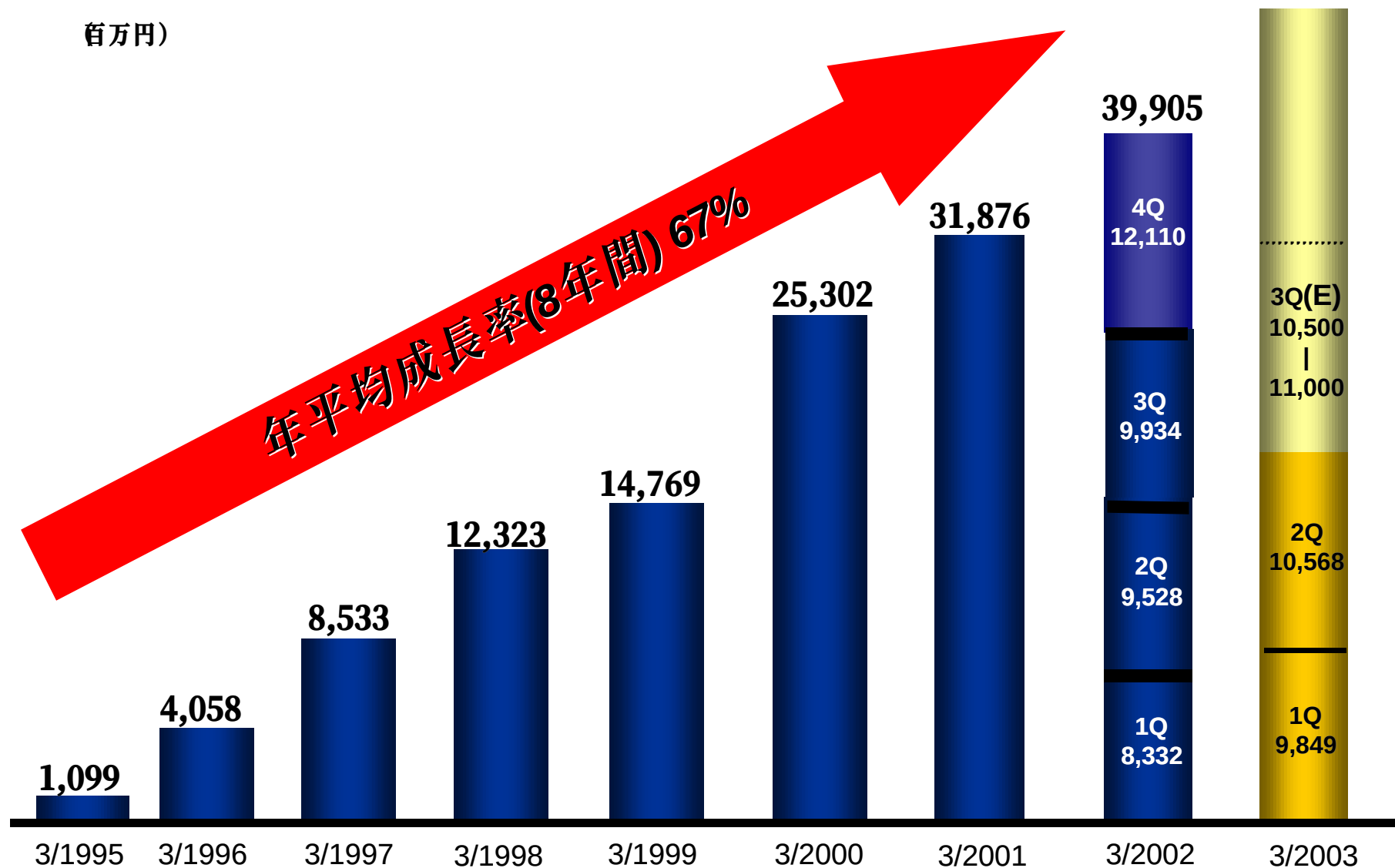
(百万円)



売上高推移 (年度)

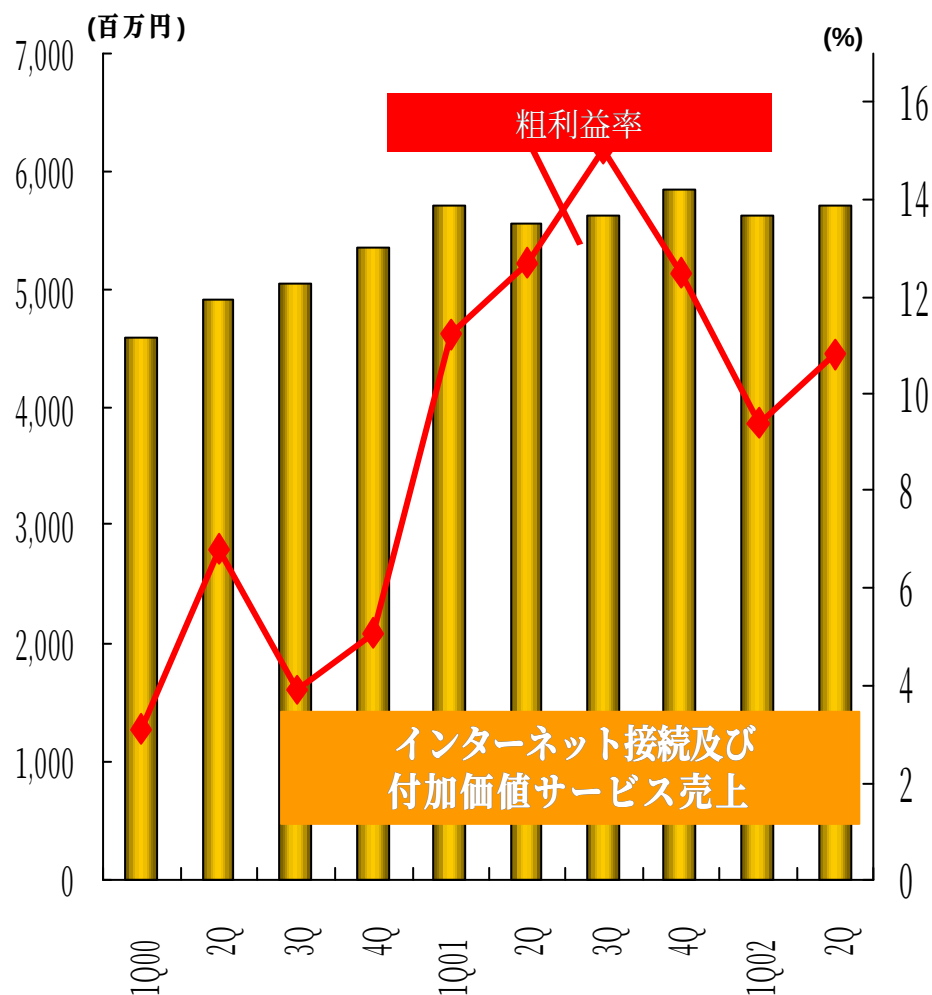
20%の成長見込み

(百万円)

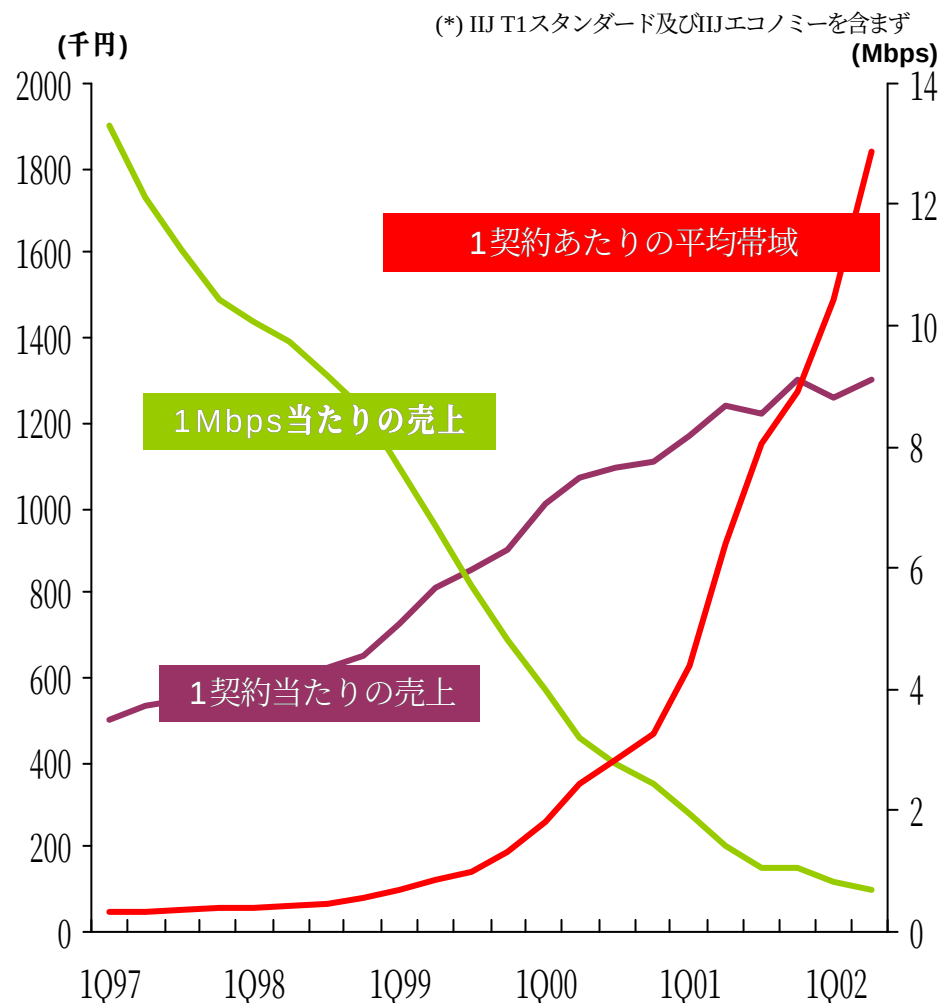


インターネット接続及びVASサービス ①

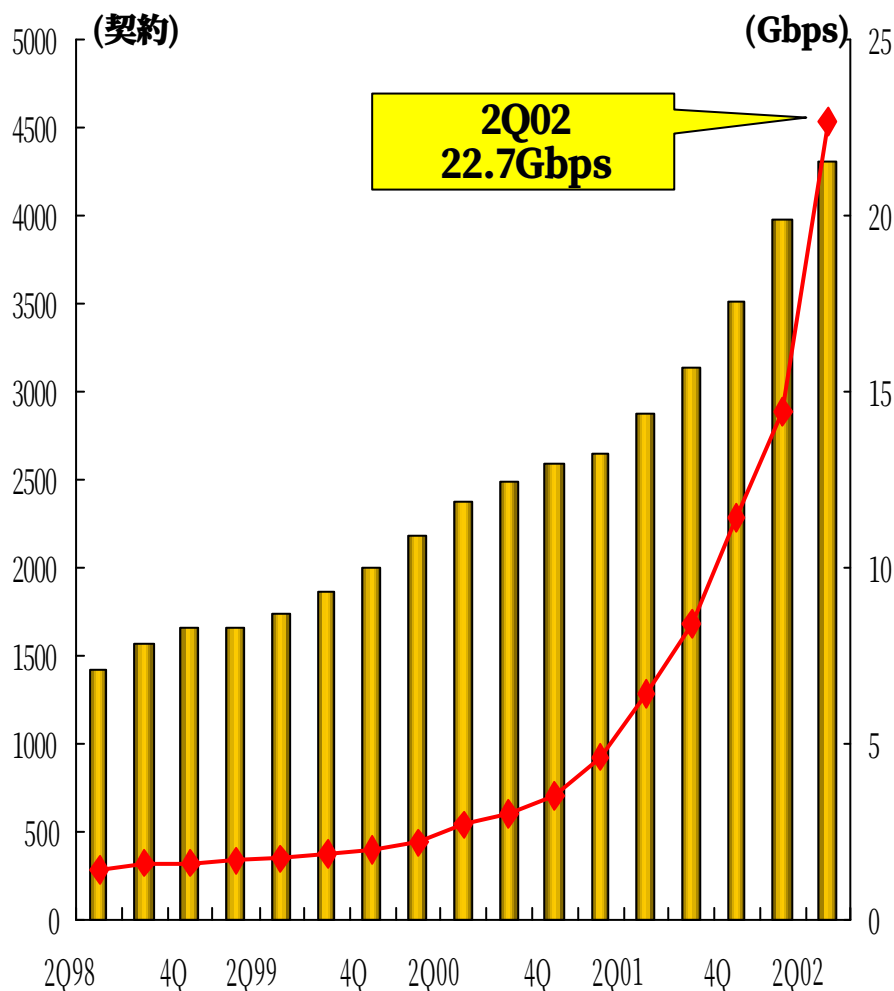
売上高と粗利益率



IP サービス(*) ARPU

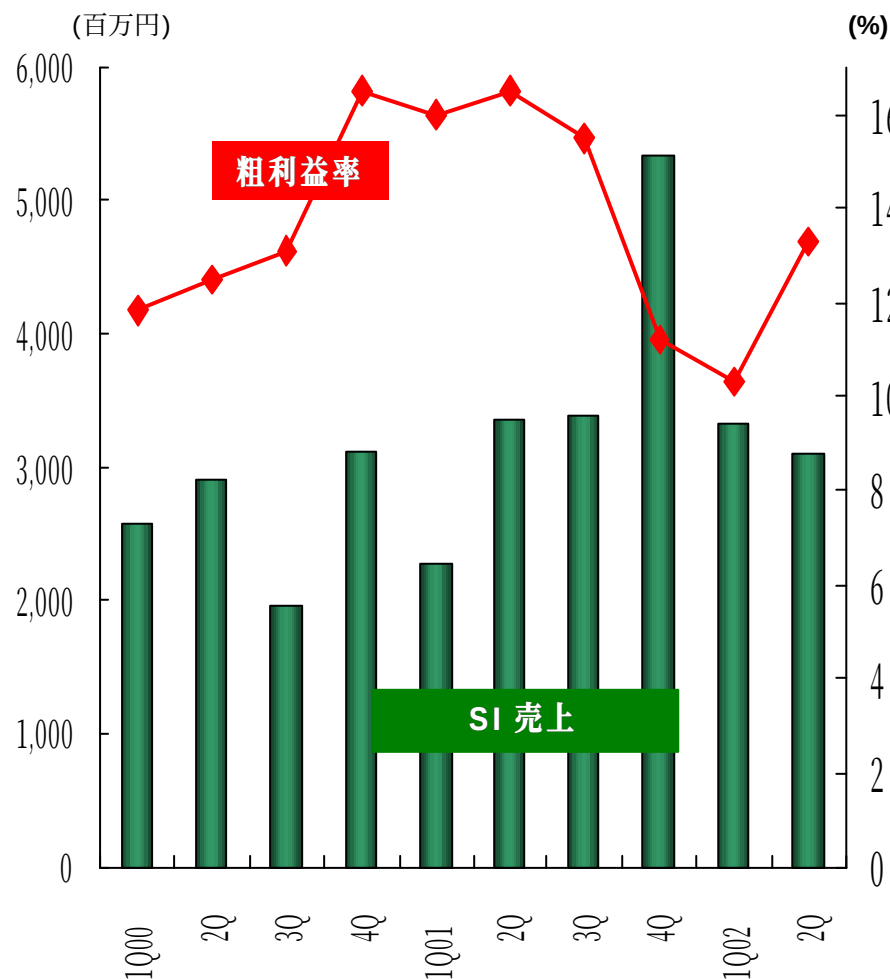


専用線接続サービスの総契約帯域及び契約数



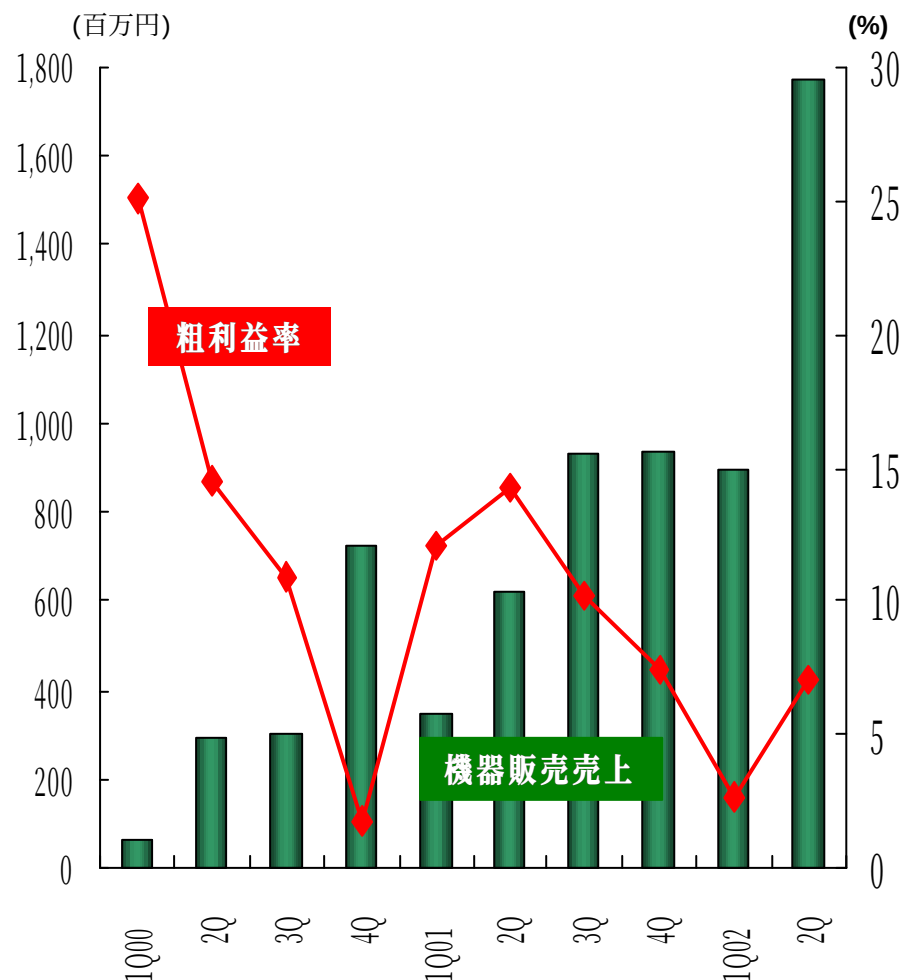
- 下期に向けて、更なる成長を期待
- 11月より開始した「IIJ VPNスタンダード」が好調。
- CDN JAPAN（ブロードバンドに最適化されたコンテンツ配信網）を利用した複数のISP案件がサービスイン予定
- 10社以上のCATV会社を新規受注する見込み。
- 新データセンター（横浜、埼玉）のサービスを開始（4Q02）

SI売上と粗利益率



- 粗利益率は大幅改善
- 伊藤忠テクノサイエンスなど、大型エンタープライズ・ネットワーク案件を受注
- 法人および通信事業者向けのメール・ソリューションが好調
- 2002年度上半期の主要顧客は、DLJディレクトSFG証券、伊藤忠テクノサイエンス、マネックス証券、ケイ・オプティコム、トヨタ自動車など
- 下期は、第4四半期に大幅な伸びを期待

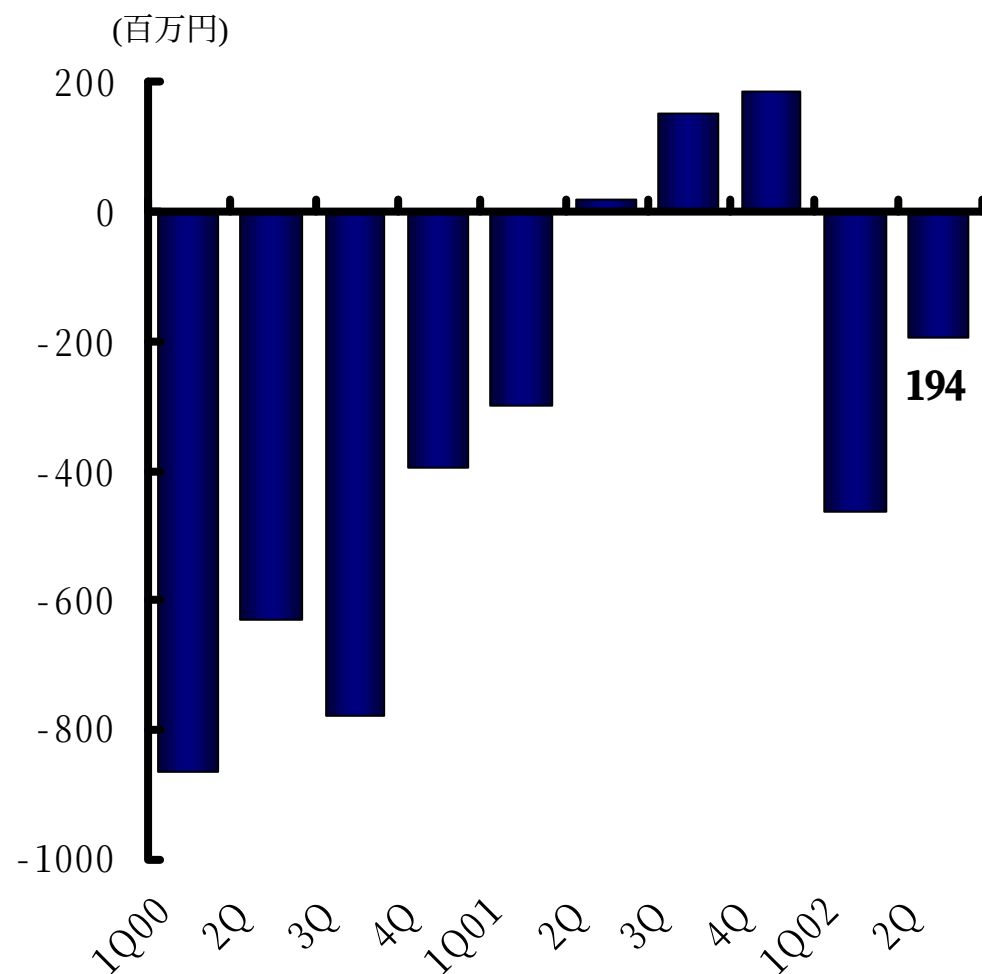
売上高と粗利益率



- 2Q02の主な増加要因は、SI顧客に対する追加的な機器販売および自社開発ルータ「SEIL（ザイル）」の好調な伸び
- 新機種「SEIL/neu ATM」は、11月より日本電気にOEM供給を開始予定

営業損益（四半期）

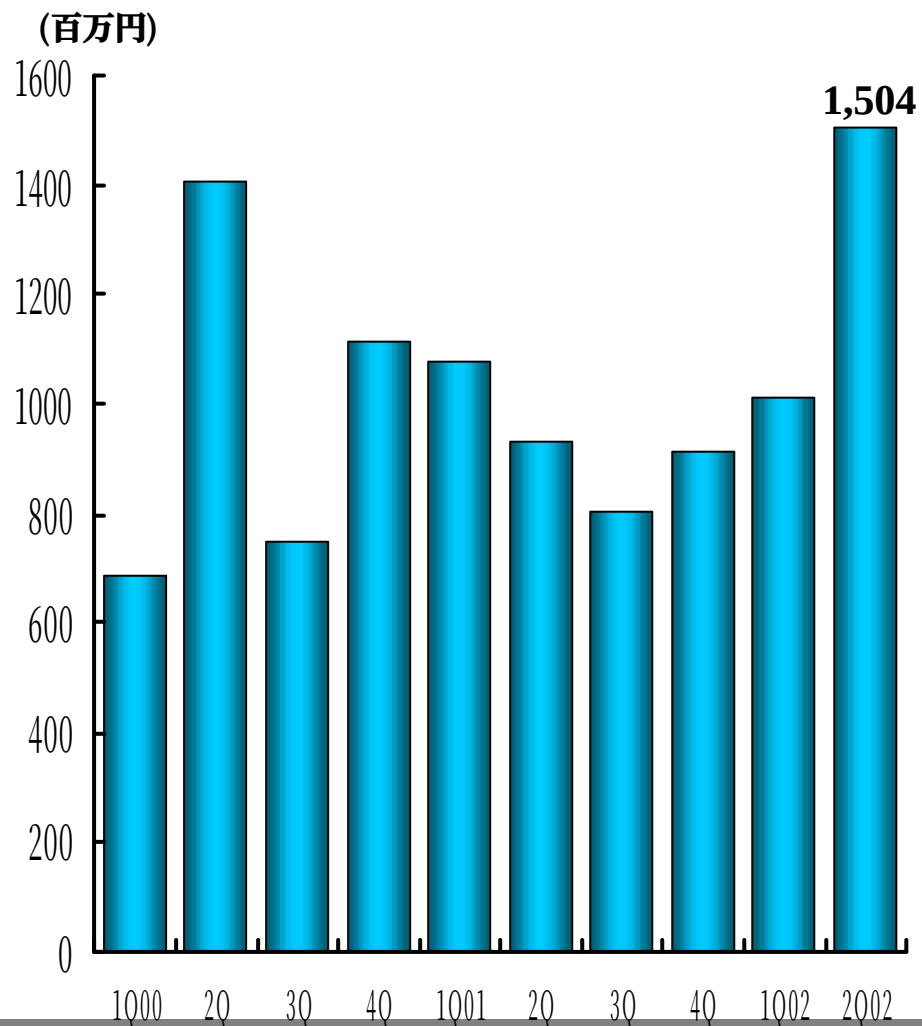
営業損益



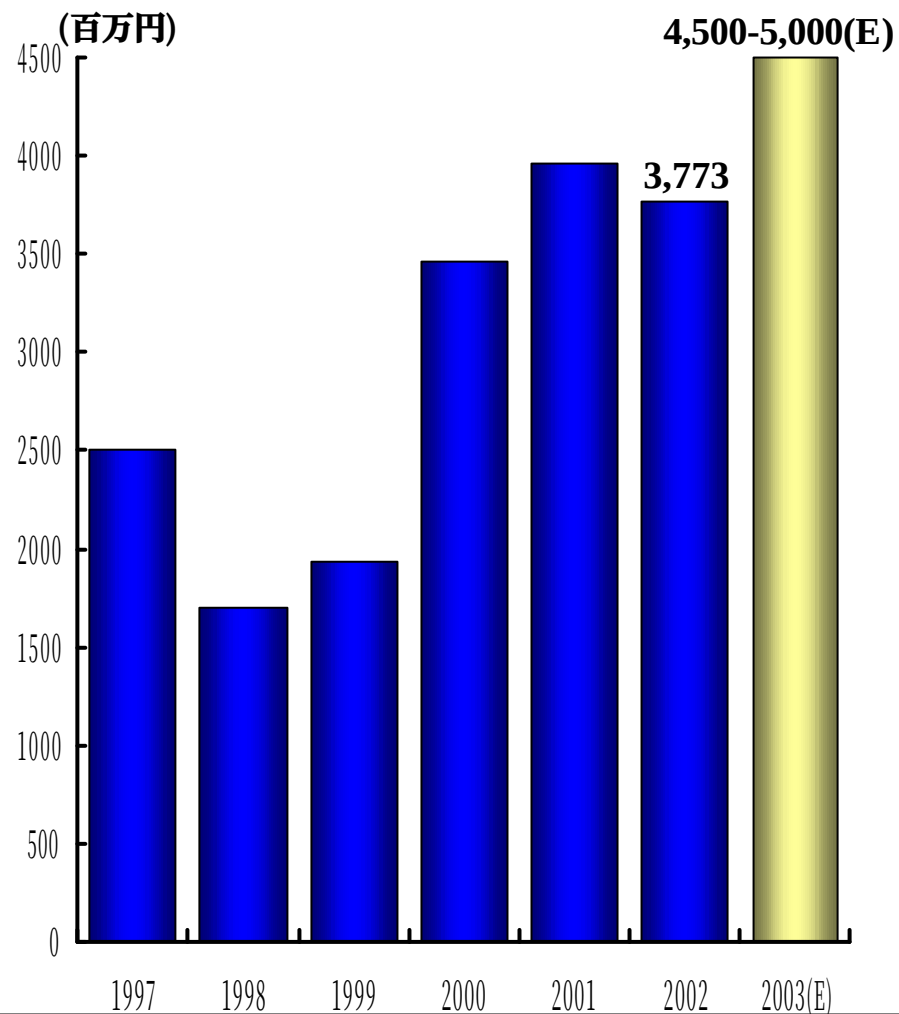
- 営業損失は194百万円へ
- 景気の動向は不透明ではあるが、2002年度通期の営業損益は黒字化の見込み

CAPEX

CAPEX (四半期)



CAPEX (年度)



リソース・オンデマンドDCサービス

リソース・オンデマンドDC サービス コンポーネント

データ管理

DB, CRM
File Server
Disk, Backup

ネットワーク

Internet, LAN
サーバリソース
CPU, Mem

情報系

Mail GW/Box
Web GW
アカウント管理

■ オペレーションサービス

—DC基本オペレーション（テープ管理他）
—監視・運用管理、セキュリティ管理他

■ ネットワーク系サービス

—IIJインターネット接続、CDN
—CWC広域LAN、メトロ／ギガウェイブ、他

■ ファシリティサービス

—電源・空調等の設備
—スペース、ラック、セキュリティシステム他

✓ 必要なものを、必要なだけ、必要な時に、提供するIIJグループの新しいDCサービス

✓ ネットワーク設備のアセットレス化を実現

✓ ディザスター・リカバリー対応

新データセンターの紹介

IIJグループの総合力を発揮した最先端の設備とネットワーク環境を配備した国内屈指の大規模データセンター

- 横浜第1データセンター
企業情報システムのフルアウトソーシングに最適な設備とサービスを備えたセンター
- 埼玉第1データセンター
情報発信基地としての機能とサービスを備えたセンター

■横浜第1データセンター

所在地 神奈川県横浜市
階数 地下1階、地上3階、塔屋2階
延床面積 19,420.15m² (I期)
構造 鉄骨造 (建物免震を採用)
床耐荷重 1 ton/m²



NEW

■埼玉第1データセンター

所在地 埼玉県川口市
階数 地上9階、塔屋2階
延床面積 14,143.10m²
構造 鉄骨造 (耐震+制震設計)
床耐荷重 1 ton/m²



NEW

横浜第1DC 施設仕様	STEP1 (2003.1)	STEP2 (未定)	STEP3 (未定)	合計
延床面積	19,420 m ²	13,000 m ²	6,745 m ²	39,165 m ²
サーバー室 面積	4,353 m ²	5,717 m ²	2,841 m ²	12,911 m ²
オフィス面積 (人数)※7m ² /人	662m ² (5)	894m ² (128)	643m ² (92)	2,199m ² (15)

埼玉第1DC 施設仕様	STEP 1 (2003.1)	STEP 2 (未定)	STEP3 (未定)	合計
延床面積	14,143 m ²	—	—	14,143 m ²
サーバー室 面積	2,038 m ²	2,058 m ²	640m ²	4,736m ²
オフィス面積 (3F) (人数)※7m ² /人	1,045m ² (148)	—	—	1,045m ² (148)